

新潟産業大学報

青海波



第16号

発行日：平成18年8月25日

発行・編集：

新潟産業大学広報委員会

新潟県柏崎市軽井川4730番地

TEL 0257-24-6655 FAX 0257-22-1300



厳しさを増す大学の現状

学長 吉田邦夫

我が国では、五割を遥かに凌駕する大学進学率と、十万人以上の留学生に支えられて、七百強の大学が収容定員を十分に上回る学生を確保してきました。しかし、急激な少子化の進行は、進学率の上昇をもってしても打ち消すことができないまでに、大学入学を希望する若者人口の減少をもたらしました。また日本での勉学を希望する海外の人々はたくさんいますが、学力や経済力に一定のレベルを求めようとする、現在以上の受入人数の増加は望めないところまできています。

この結果として、多くの大学で収容定員を確保することが困難となりつつあります。良く言われることですが、来年には大学への進学を希望する若者人口と、全大学の収容定員の合計数とが一致するところとなり、大学を選ばない限り全員が入学できる「大学全入時代」が来ることになっています。

さらに二〇一〇年には全体の二割、場合によっては四割もの大学が経営困難になるであろうとの予測が発表されています。

困ったことに新潟県は人口減少が最も高い県の一つであり、その

中であつて柏崎市の減少率は県下一つとなっています。加えて、新潟県は大学進学率がかねてより最も低い地域であり、あらゆる面から見て、新潟産業大学の将来は厳しいと言わざるを得ません。

良いにしろ、悪いにしろ、六本木ヒルズのニュースが連日のように伝えられています。原宿や渋谷の若者ファッションも次々と雑誌を飾ります。若い人々が東京へと志向する流れを止めることは不可能でしょう。

最早、本学設立当時のように定員の数倍の入学希望者が来ることは有り得ないことです。むしろ、毎年のように収容予定人数を削減していくことが求められるようになるかもしれません。わたしたちはこのような状況を真摯に受け止めて、地元を踏み止まって勉学に励もうという学生、そして先輩に続こうと健気にも異国にやって来る留学生に対して温かい気持ちで接し、充実して楽しい四年間であつたと言ってもらえるような教育に全力を尽くしていかなければなりません。

一九八〇年末頃まで、若者のほとんどは大学を卒業すると順調に

企業社会に入っていました。もちろん、学歴や学業成績の違いによって就職する企業の規模や職種に明暗はありました。しかし、ともかく企業に正社員として入社し、単純な仕事から、管理的、企画的な職務へと展開して、昇格・昇給していききました。こうした歩みの下で「会社人間」の心得を身に付けさせるのが労務管理でした。

それが、一九九〇年代以降になり、経済のグローバル化と、バブル崩壊後の長期不況は、企業の労務管理に大きな変化をもたらしました。すなわち、(一) 正規社員数の厳しい限定と非正規社員の広範な採用、(二) 正規社員の昇格基準における年令と勤続年数という要素の排除、(三) 従業員の評価における成果重視、それも短期的な成果重視。

このような就職環境の変化に対応するために、大学卒業生に明確な職業的展望を与えることが重要となってきました。一年生には職業意識の涵養、二年生には具体的目標の発見、三年生からはそのための能力開発と学生たちがそれぞれ自力でプランを立てられるよう、一人一人にキャリアカウンセリングのサービス提供が必要となりました。その充実度が入学希望者を引き寄せる「大学の競争力」

になつていくことを全教職員に知ってもらいたいと思います。

当大学は本年より経済学部と産業システム学部という新体制を充足させました。これにより、地域の経済・産業活動に必要な人材を育成するという地方大学としての意義を一層明確化させました。新しく設立された産業システム学部は、新潟県が誇る金属加工業を中心とする企業群と産学連携を強化することによって、「産業界」という技術体系を確立できるようであつてほしいと願っています。

来年は柏専学院として創立六〇周年、新潟産業大学として創立三〇周年を迎えます。当大学が地元を中心とする地域の人々に愛される存在であり続けたいと心から願うものです。





本学経営における要点

学校法人柏専学院

理事長 松縄 武彦

学校法人柏専学院は、来年六〇周年を迎えることとなり、新潟産業大学としても二〇年の沿革を刻もうとしています。この間、時代の進展とともに、教育内容及び制度の改善充実に励んできたところであります。

しかし、大学をめぐる環境は大きく変化しました。大学全入時代を迎え、学生が大学を選ぶ時代に突入しています。学生あつての大学です。これからは魅力ある特色をもった「入りたい大学」に生まれ変わらなければなりません。このことに鑑み、本学では、自らの責任の下に人事を尽くし、時代に即応した改革を強力に推進することが喫緊の課題となっています。



このことから本学の経営・運営に当たり、次のような要点を踏まえることが大切であります。

一つには、教育機関としての機能強化を図ること。本学が真に価値ある大学としてより高い評価を得るためには、学生ひとり一人の自己実現が図られるよう、充実した教育指導体制づくりを一層進めなければなりません。美味しい食べ物を提供する食堂には、行列ができます。繁盛する店は、消費者のニーズをリサーチし、顧客を満足させることに心血を注いでおります。大学の教育機能を十分発揮し、価値あるものを提供する特色ある大学とすることが大切であります。

二つには、現状を検証し、保守し、改革すること。組織や体制は、時とともに硬直化や機能低下をきたし、現実社会と人心の間に隙間をつくります。経営・運営における保守と改革についてよくよく見極めて事にあたることが大切です。守るべきことは断固堅持し、変えるべきは積極果敢に取り組むことです。自動車のエンジンを円滑に作動させるためには、適切な潤滑オイルの量や質の点検が欠かせません。消耗があれば補充し、必要に応じ新しいオイルに交換しなければなりません。大学経営・

学校法人役員 (2006年8月1日現在)

理事長 松縄 武彦
NPO法人 ユートピアくびきスポーツクラブ 理事長
副理事長 土田 新吾
柏崎観光事業協同組合理事長
理事 会田 洋
柏崎市長
片倉 百樹
東京電力株式会社 執行役員
野水 重勝
ツインバード工業株式会社 社長
樋口 栄治
長岡商工会議所 専務理事
吉田 邦夫
新潟産業大学長
五十嵐夷廣
新潟産業大学附属高等学校長
戸田 要一
新潟産業大学事務局長
高橋 成夫
新潟産業大学経済学部長
藤井 信行
新潟産業大学産業システム学部長
梅比良真史
新潟産業大学人文学部長
澤田 眞治
新潟産業大学学長補佐
坂東 淳悦
新潟産業大学経済学部 教授
小野塚正之
柏崎信用金庫 常勤監事
山本 浄信
株式会社シーエス柏崎 専務取締役

片倉 百樹
東京電力株式会社 執行役員
鈴木 茂
株式会社ヒロタカデザイン事務所
千原 昭夫
柏崎市シルバー人材センター 理事長
土田 新吾
柏崎観光事業協同組合理事長
富川 哲男
富川自動車塗装工業
野水 重勝
ツインバード工業株式会社 社長
樋口 栄治
長岡商工会議所 専務理事
藤田 達生
株式会社リケン柏崎事業所長
古川 武
新潟サンリン株式会社 副会長
松縄 武彦
NPO法人 ユートピアくびきスポーツクラブ 理事長
吉田 康
株式会社ブルボン 社長
吉田 邦夫
新潟産業大学長
五十嵐夷廣
新潟産業大学附属高等学校長
戸田 要一
新潟産業大学事務局長
高橋 成夫
新潟産業大学経済学部長
藤井 信行
新潟産業大学産業システム学部長
梅比良真史
新潟産業大学人文学部長
澤田 眞治
新潟産業大学学長補佐
橋本 次郎
新潟産業大学経済学部 副学部長
古川 泰男
新潟産業大学産業システム学部 副学部長
山田 茂雄
新潟産業大学附属高等学校 教頭
坂井 公史
新潟産業大学附属高等学校 教諭
金子 和裕
新潟産業大学事務局長次長

評 議 員 (2006年8月1日現在)

会田 洋
柏崎市長
今井 元紀
柏崎市議会議員
入沢 徳明
柏崎市議会議員
内田 力
株式会社コロナ 社長
小栗 俊郎
全国国際理解教育研究会 顧問
片桐 健三
新潟産業大学校友会事務局長

運営についても同じことが言えると思います。本学の教育機能や諸事項を点検し、変えていかななくてはならないものは、果敢にリニューアルを図るべきであります。

三つには、地域に貢献し、信頼と評価を得ること。本学は、教育を通して社会に責任を持たなくてはなりません。より地域との連携を図り、本学に対する信頼と評価を得ることが、大学経営にとりましても肝要となります。大学は、高度な学問体系をもとにした研究と教育の機関であります。大学の

教育機能と研究成果を地域に還元し、地域貢献を果たすとともに、地域からも多くのものを与えてもらい活力を得ることです。そのような相互関係を構築することにより、地域からの信頼を得て、大学の社会的評価が高まっていくことにつながります。

四つには、当事者意識をもつこと。改革推進の担い手は人です。本学が、高等教育機関としての教育機能を維持し、社会的に高い評価を得る大学に発展させるためには、教職員ひとり一人が、財

経済学部 の 現況

経済学部長 高橋 成夫

経済学部は、少子化の影響を受けるとともに、近隣他大学の類似学部との競合もあり、極めて厳しい大学間の競争を強いられています。そのために個性的な存在理由が求められることになります。



今年度、地域の社会や産業に貢献する人材育成を目的として学科改組を行い、新たな二学科体制になりました。まず、経済経営学科は、「経済分析」、「地域振興」、「経営」、「会計」、「情報」をキーワードとする五つのコースから成ります。次に、国際コミュニケーションビジネス学科では、国際ビジネスに必要な経済・経営の知識に加えて、相手国の語学、文化、歴史を学びます。いずれも「実学志向」を前面に押し出した学科です。

また、ご要望の多かった教職課程を設置し、経済経営学科では「中学社会」、「高

校公民」の免許を取得できるようにしました。国際コミュニケーションビジネス学科でも「英語」、「高校地理・歴史」の免許を取得できるよう準備中です。

今後も地域に根ざした「経済学部」としての使命を果たしていきたいと思っております。皆様方のご高配にあずかれますよう、よろしくお願い申し上げます。

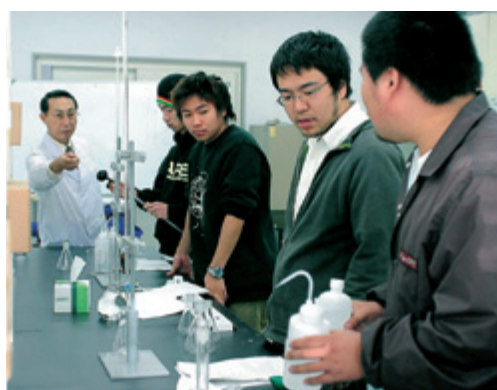
産業システム学部の発足

産業システム学部長 藤井 信行

平成十六年四月に発足した産業学科は、地域社会の生活に密接に関連した産業技術を身につけるとともに、経済・経営に関する知識を学ぶという新規構想に基づく理工系総合学科です。しかし、経済学部の中の技術系学科という点が、高校における進学指導では十分な理解を得られないという問題がありました。そこで、十七年四月に着任された吉田邦夫学長の下で見直しが行われ、十八年四月から産業システム学部産業学科として経済学部から独立しました。

本学部学科は産業技術を身につけて、私たちの生活環境をデザインできる若者を育てることを意図し、以下の二つのコースからなっています。「生活環境デザインコース」では、高齢社会に対応する介護福祉機器や地球環境に優しい新規エネルギーや材料の開発、新しい生活を創造する食環境の開発などを通じて、日常生活の土台を支える確かな技術と知識を学びます。また、「情報環境デザインコース」では、私たちの快適な生活に欠かせないインターネットやコン

ピュータネットワーク環境下においてITを基盤とした新規プロジェクトの立案と実行に必要な知識と技術を学びます。



人文学部は

六十年保証をめざす

人文学部長 梅比良 眞史

人文学部は「地域文化学科」という一学科で成り立っています。ただし、地域文化学科は、単に柏崎の、新潟の、日本の文化を研究し、学ぶだけの学科ではありません。

外国語を学び、外国の文化に触れることも「地域」を知ることに通じます。世界は「地域」が集まって成り立っています。「地域社会」と「国際社会」は別のものでありません。私たちが実際に生活している場所は、どこであれそれぞれ「地域」なのです。私たちは抽象的な「世界」には住むことができません。私たちの人文学部では、ヒュー

マンズケールで測ることのできる「実社会」の仕組みを解き明かします。

現代の社会では、生活の時間は目まぐるしく過ぎていきます。科学技術が発達し、経済的に社会が発展しても、私たちの生活を危機にさらす事件や事故はとどまるところを知りません。こうした社会問題の根源は、多くの場合、人間の精神にあると言えます。

人文学部では、人間の精神活動の過程であり結果である文化を学びます。問題の山積する現代にあつて、自分自身で様々な問題を解決する方法を、考える術を探索し、そして人生をゆたかに生きるための文化理解を深めていきます。それによって人文学部生はまさに「実学」を身につけて卒業し、さらに六十年以上の人生を実り多いものにできるはずです。生涯を通じて幸福な、地に足のついた社会生活を送ることができると思います。そうなるために教職員は学生とコミュニケーションを絶やさず、学生生活をますます充実したものにしようと日々努めています。



授業改善をめぐる諸問題

教務委員長 山崎 一輝

いかに大学における授業をよりよいものに改善してゆくか。まずは、この命題を絶えず自らに問い続ける必要がある。これは教員だけの問題ではなく、受講する学生にとっても、教育環境を整備する大学側にも、等しく共通する課題である。

その取り組みの端緒として、本学でも合意を得たのが「授業改善アンケート」である。年に二回、すべての授業科目において学生にアンケートを実施し、集計し、分析する。次に授業担当者や学科・学部単位における検討や反省なども踏まえた上で、改善計画の立案や具体的な実行プランを公表する。アンケートの結果は、次学期の授業のスタートに間に合うように、そして学生と教員の双方にとって、授業がよりよいものになる方向に生かしていかなければならない。

現実にはまだその段階まで達しておらず、授業アンケートの実施方法について批判の声があるのも事実である。はたして、すべての授業科目で行う必要があるのか。形ばかりで実質はいつまでも改善されないではないかという声もある。その通りではあるが、あせらず、現状を正しく認識し、話し合いの機会を増やして、とにかく大学を良い方向に持ってゆくという共通意識を全学で共有していきたいものである。

キャンパス・ライフと
カフェテリアの充実に向けて

学生委員長 沼岡 努

社会的経験を持たない若者が、大学入学の四年後には、会社などの組織人として、周囲の人々と摩擦を起こさず、また精神的トラブルに陥ることなく、活動しなければならぬという現実。ごく当たり前のようですが、人生にはクリアするのが困難と思

えることが横たわっています。大学の四年間が「いかに大切に、人生を決定づけるか」ということを、一人ひとりに深く認識して欲しいと思います。何かに打ち込み、やり遂げた満足感、充実感を抱いて、大学を後にしてもらいたいと切に願っています。

さて、学生委員会は主にキャンパス・ライフの充実を図ることを目的とする組織ですが、昨年から「食堂・カフェテリアの改善」を検討してきました。教職員・学生有志による積極的な議論、調査を経て、六月末までに運営業者の公募から選考・決定に至るプロセスを滞りなく遂行できました。現在は、秋学期の新装オープンに向けて、具体的な準備段階に入っているところです。今後、学生の「キャンパス・ライフ満足度」を一層高めるべく、食堂施設の充実をはじめ、生活相談、福利厚生等、様々なサポート体制の強化に向けて最大限努力していきます。

退職教員紹介

大学院経済学研究科経済分析
ビジネス専攻教授

金田 一郎先生

専門分野：

農業経済学、経済政策、環日本海経済研究
主な学内職歴

- ・新潟産業大学長（1988.4～1996.3）
- ・附属東アジア経済文化研究所長（2002.4～2007.3）

経済学部経済学科教授

佐口 功先生

専門分野：

経営情報、情報システム、経営工学

主な学内職歴

- ・電子計算機施設運営委員長（1998.4～2000.3）
- ・附属生活工学研究所長（2003.10～2004.3）

人文学部地域文化学科教授

鶴田 洋子先生

専門分野：日本語教育、日本近世文学

主な学内職歴

- ・附属図書館長（2000.4～2002.3）
- ・国際センター委員会副委員長（2004.4～2005.8）

経済学部産業学科教授

伊藤 寛志先生

専門分野：生理学、医用工学

主な担当科目：医学概論、公衆衛生

東アジア経済文化研究所教授

戸田 榮輔先生

専門分野：

日本経済論、経済社会論、マスメディア論

主な学内職歴：

- 広報委員会副委員長（2005.7～2006.3）

と学生が自然な形で日常的に交流されることを願っています。学生は「公園」で心と体をリフレッシュし、また市民の皆様には「公園」散策の際に足を伸ばし、大学の雰囲気になじみを感じていただければと思います。

産大生に夢を広げる教職課程

教職課程 遠藤 元男

昨年度、産大に教職課程が開設されてから二年目。現在、教員免許を取得できる教科は社会（中学）、公民（高校）、理科（中学・高校）ですが、英語（中学・高校）、地理歴史（高校）、情報（高校）も来年度開設へ向けて準備中です。また同時に学芸員課程も来年度開設の予定です。

ところで、今、なぜ教職課程なのでしょう？ズバリ言うと、団塊世代の教員大量退職時代を迎えて、教員の大量採用が見込まれるため、本学としても地元教員の養成に貢献したいからです。ちなみに、本県の公立学校教員の採用数は、今春は約三百人、来春は約四百人です。しかも、平成三十年頃まで毎年六百人くらいの採用が確実に見込まれていました。

さあ、皆さん、パワフルな指導陣のそろう産大の教職課程で、教員免許取得に心燃やして挑戦してみませんか。



新任教職員紹介

- ①所属 ②専門分野(研究テーマ) ③最終学歴・学位
④主な担当科目 ⑤抱負(ひとこと)



星野 三喜夫
(ほしの みきお)

- ① 経済学部
② 国際金融、貿易実務、ビジネス英語(東アジア地域金融協力東アジア共同体、APEC)

③ 早稲田大学法学部卒業

- ④ 国際金融(ゼミナール)、貿易実務、基礎英語、応用英語時事英語、アジア事情

⑤ 二十八年間国際金融を専門とする金融機関に勤務していましたが、東アジアで日本が果たすべき役割やリーダーシップについて一緒に考えていきたいと思えます。本学の学生には、人生は仕事を通じて自己実現を図るための自身で描く「設計図」であること、時間的に限られた四年間を、企業人として必要な知識や教養、スキルを学ぶと同時に、生涯の勉学のベース基地(あるいは「ハブ」として位置付けることの重要性を早い段階で理解して、自身の夢や希望に向かって邁進して欲しいと考えています。



菅谷 奈津恵
(すがや なつこ)

- ① 経済学部
② 第二言語としての日本語教育第二言語習得、テンス・アスペクト

③ お茶の水女子大学大学院博士後期課程人間文化研究科単位取得退学・博士(人文科学)

- ④ 日本語(留学生対象)、日本語概論、日本語教授法

⑤ 黒潮うずまき太平洋の近くで生まれ育ちました。日本海側の気候、海の青さがとても新鮮です。



神林 紀嘉
(かんばやし のりよし)

- ① 産業システム学部
② 情報通信(アナログ・デジタルフィルタの設計・低消費電力AD変換器の開発・集積回路設計(演算増幅器・演算伝達コンダクタンス増幅器など))

③ 信州大学工学部通信工学科卒

業・工学博士

- ④ 情報産業Ⅰ・計測基礎・産業数学Ⅱ・機械産業概論B

⑤ 約四〇年間の教育・研究生活のノウハウを産大で生かしたい。特に「物作り」を通して、学生に「やればできる」という自信を持たせてやれたらと思います。



村上 尚
(むらかみ たかし)

- ① 産業システム学部

- ② 分子生物学、生化学(生活習慣病の分子生物学的、病態生化学的、病態生理学的解析)

③ 熊本大学大学院医学研究科博士課程中途退学・博士(医学)

- ④ 基礎医学、医学概論、臨床医学概論

⑤ 現在、授業の準備に追われる日々を過していますが、少しずつ準備をして実験、研究もしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

資格取得課程設置申請

平成19年度開設に向けて次の課程を申請します。

経済学部

国際コミュニケーションビジネス学科

教職課程：英語(中学・高校)、

地理・歴史(高校)

学芸員課程

産業システム学部 産業学科

教職課程：情報(高校)



平野 実良
(ひらの みよし)

- ① 産業システム学部

- ② 福祉情報(高齢者・障害者の社会参加とOOLの向上に寄与できる電子自治体・地方自治体のWebアクセシビリティ・地域リハビリテーションシステム)

- ③ 帝京平成大学大学院情報学研究科情報学専攻修士・修士(情報学)

- ④ パソコン実習Ⅰ・パソコン実習Ⅱ

⑤ 本学での教育・研究を通して、ノーマライゼーション社会の実現へ寄与していきたいと思っています。



戸田 要一
(とだ よういち)

- ① 学校法人柏専学院事務局・新潟産業大学事務局

- ③ 法政大学法学部法律学科卒業
柏崎市と新潟産業大学との協議の中で、お互いの連携強化を目的とした「職員の派遣に関する協定」により、平成十八年四月一日から事務局長に就任させていただきました。

地域に信頼され、高等教育機関としての使命をまとうことができるよう財政基盤の強化、物的・人的体制の見直しを図り、充実した教育内容の整備に向けて改革を進めている松縄理事長、吉田学長のもとで職務に邁進してまいります。

学校法人柏専学院創立 60 周年記念式典・祝賀会

平成19年10月5日(金)

このたびの周年事業は、半世紀以上にものぼる、本学の歴史を振り返り、検証し、それをもとに更なる充実飛躍を遂げる、またとない機会と捉えております。



本学を維持発展させてこられた、関係各位の熱い思いを再確認し、本学発展の転換点につながればとの思いであります。新潟産業大学がこの柏崎の地にあって、全国数ある大学の中でも、特色ある充実した学府として存在有らしめることを目指したいと存じます。
(理事長 松縄武彦)



JICA(独立行政法人国際協力機構)が 本学海外提携校に 日本青年海外協力隊員を派遣。

JICAから本学海外提携校である「中国内蒙古自治区牧業機械化学校」へ派遣される日本青年海外協力隊員の吉井敏江さんが、平成18年6月26日(月)～27日(火)本学に來校しました。本学の日本語教育の取組紹介や吉田学長との懇談、中国内蒙古自治区出身の留学生から現地の様子などの情報を聞かれていました。

学園祭日程決まる！

今年で第19回を迎える紅葉祭は、平成18年10月7日(土)～9日(祝)に行われます。10月7日(土)は、柏崎市東本町通りにて、ステージイベント、綱引き大会、キッズコーナー、父母の会講演会、各種模擬店出店など行います。10月8日(日)～9日(祝)は、大学キャンパスにおいて、軽音楽部、吹奏楽部による演奏、全日本モンゴル相撲大会、各種模擬店出店などが行われます。お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。



ぎおん柏崎まつり 「たる仁和賀」に約70名が参加

平成18年7月25日(火)18:00から開催された、ぎおん柏崎まつりの「たる仁和賀」に参加しました。5年目の参加となる今年は、学生・教職員あわせて約70名が、産大はっぴを身にまとい、柏崎の本町通りをねり歩きました。

たくさんの方々から多大なるご声援をいただき、誠にありがとうございました。

柏崎市外や県外出身の学生が、あるいは留学生が地域の行事に参加し、市民と親睦を深める良い機会であり、その地域の人々や文化に直接深く関わり、普段の学生生活と異なる満足感が得られる貴重な体験となりました。



学生の活躍

柏崎から世界へ！ ライフセービング競技国際大会出場



2006年7月17日(月・祝)に千葉県御宿海岸特設会場で開催された「三洋物産 インターナショナル ライフセービングカップ 2006」に出場する日本代表メンバーとして、人文学部2年生 青木将展君が選出されました。

この大会は日本ライフセービング協会の主催で、オーストラリア、南アフリカ、アメリカ合衆国、香港の招待チームと日本チームを合わせた五カ国対抗戦で行われます。

青木君は今年2月に行われた「レスキュー 2006 世界選手権大会」日本代表出場や全日本選手権大会でのボードレース優勝などの戦歴を評価され、今回の代表選手男子5名の1人に選ばれました。パドルボートレース5位、ビーチフラッグス7位、茅ヶ崎LSCの青野選手とコンビを組んだレスキューボードレスキューレースでは2位と大健闘しました。

地元小学生と留學生の交流

2006年5月30日(火) 柏崎市立柏崎小学校6年生116名が本学に來校しました。

これは、1年生の留學生を対象とした「日本の社会」の授業の一環として実施したものです。

日本の小学生と触れ合うことによって、積極的に日本の社会を体験するとともに、母国の子供たちとの違いなどから良い刺激を受け、視野が広がることを企図したものです。

参加した小学生も、留學生にインタビューしたり、一緒に中庭でお弁当を食べたり、バスケットボールや相撲、ギター演奏などを楽しみました。



FMピッカラ 「White Board」

学生パーソナリティ活躍中！

毎週金曜日19:00～20:00にFMピッカラ(柏崎コミュニティFM)で放送中の「White Board」(76.3MHz)は、地域振興研究会のラジオ部門の學生が企画し、パーソナリティとして活躍しています。毎回、市民の方をゲストにお招きし、楽しいトークを繰り広げています。

金田一郎先生に名誉教授の称号



平成18年7月13日(木)、ご退職された金田一郎先生の名誉教授称号授与式が行われました。吉田学長から称号記が授与され、金田先生は、学長時代のご苦勞や新潟産業大学への熱い思いを語られていました。

金田先生には今後、本学の諸式典への招待、刊行物の贈呈、諸施設の利用などの礼遇が行われます。

就職状況

(平成18年3月末日現在)

景気回復傾向や団塊世代の大量退職などを要因に求人数は好転し、首都圏では売り手市場とも囁かれ始めている。しかし、「厳選採用」という企業側スタンスは変わっておらず、募集枠に達せずとも採用を打ち切る企業も多く、就職を取り巻く環境はまだまだ厳しいと言わざるを得ない。

そんな中、本学の今春卒業者の就職率は、前年比 1.1 ポイント増の 96.0%。就職希望率は、前年比 4.9 ポイント増の 81.5%。上場企業就職率は、前年比 9.5 ポイント増の 20.0%と、いずれも昨年度を上回るとともに、今年度も全国四年制大学平均より高い就職率を維持するなど就職に強い大学を実証した。

		経済学部			人文学部			両学部合計		
		男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
今年度	就職率 (%)	98.5%	100 %	98.7%	81.3%	100 %	88.0%	95.1%	100 %	96.0%
	上場企業就職率 (%)	20.3%	22.2%	20.5%	25.0%	11.1%	19.0%	21.1%	16.7%	20.2%
	就職希望率 (%)	84.6%	100 %	86.4%	59.3%	100 %	69.4%	78.1%	100 %	81.5%
前年度	就職率 (%)	94.0%	100 %	94.6%	95.8%	100 %	96.6%	94.3%	100 %	94.9%
	上場企業就職率 (%)	9.3%	20.0%	10.5%	9.5%	20.0%	11.5%	9.4%	20.0%	10.7%
	就職希望率 (%)	75.6%	78.9%	75.9%	80.0%	83.3%	80.6%	76.2%	80.0%	76.6%

注1：外国人留学生を除き、9月卒業の日本人学生14名(経済5/人文9)を含む。

注2：就職率(%)=就職者数÷就職希望者数 注3：就職希望率(%)=就職希望者数÷卒業生数

注4：上場企業就職率(%)=上場企業就職者数÷{全就職者数-(公務員合格者数+個人経営家業就職者数)}

平成19年度入学試験概要 (各学部・学科共通)

入試区分	AO (第1期)	AO (第2期)	指定校推薦 (普通高校対象)・ (総合・専門高校対象)	スポーツ・ 文化活動推薦 (学部学科間併願不可)	自己推薦 (学部学科間併願不可)	一般A日程 (2科目方式) (学費軽減制度対応)	センター利用 A日程 (学費軽減制度対応)
出願期間	(エントリー受付期間) H18.6/26(月)～9/25(月) (最終面接)	(エントリー受付期間) H18.11/13(月)～ H19.3/2(金)	高校長宛に通知する	H18.10/23(月)～11/2(木)		H19.1/9(火)～ 1/22(月)	H19.1/9(火)～ 2/2(金)
試験日	H18.10/21(土) (出願締切日) H18.11/2(木)	最終面接、出願締切日は、 エントリー受付後 個別に通知	H18.11/11(土)			H19.1/28(日)	2次試験なし 大学入試センター試験 を受験すること
合格発表	H18.11/17(金)	個別に通知	H18.11/17(金)			H19.2/5(月)	H19.2/9(金)
試験会場			柏 崎			柏崎・新潟・酒田 郡山・長野	

大学院経済学研究科(修士課程)
経済分析・ビジネス専攻

入試区分	一般B日程 (2科目方式)	センター利用 B日程 (学費軽減制度対応)	一般C日程 (1科目方式)	センター利用 C日程 (学費軽減制度対応)	社会人・帰国生	第 1 回	第 2 回
出願期間	H19.1/24(水)～ 2/19(月)	H19.2/5(月)～ 2/19(月)	H19.2/21(水)～ 3/13(火)	H19.2/21(水)～ 3/20(火)	H18.9/12(火)～ 9/26(火)	H18.9/7(木)～ 9/22(金)	H19.2/5(月)～ 2/23(金)
試験日	H19.2/25(日)	2次試験なし 大学入試センター試験 を受験すること	H19.3/18(日)	2次試験なし 大学入試センター試験 を受験すること	H18.9/30(土)	H18.9/30(土)	H19.3/3(土)
合格発表	H19.3/2(金)		H19.3/20(火)	H19.3/26(月)	H18.10/6(金)	H18.10/5(木)	H19.3/7(水)
試験会場	柏崎・新潟		柏 崎		柏 崎	柏 崎	

入試の詳細については、2007入学試験要項でご確認ください。

★入学試験に関するお問い合わせは 入試課 ☎ 0077-787-124 (フリーコール)